

平成17年度北海道園芸研究談話会年次大会研究発表要旨

会期 平成17年12月9日(月)

会場 札幌エルプラザ

(氏名の前の○は発表者、後の数字は所属)

1. メロンえそ斑点病およびつる割病 (レース 1, 2y 菌) 抵抗性台木 ‘空知台交4号’ の特性
○八木亮治¹・地子立¹・堀田治邦¹・平井剛¹・中野雅章²・中住晴彦³
(1. 花・野菜技セ、2. 原子力環境セ、3. 道南農試) …………… 6
2. 不活化花粉を利用した種なしスイカの授粉技術
○杉山慶太・室崇人 (北農研) …………… 8
3. 緑肥によるパーティシリウム菌密度の減少効果
○大平純一¹・山下茂¹・小松勉²
(1. 南羊蹄農改、2. 花・野菜技セ) …………… 10
4. 遮光資材の被覆によるホワイトアスパラガス若茎の着色抑制
○中野雅章・大橋優二・小宮山誠一 (原子力環境セ) …………… 12
5. アスパラガス若茎における頭部のしまり程度の推移
○地子立・田中静幸 (花・野菜技セ) …………… 14
6. 温度および光条件がアスパラガス若茎の頭部のしまりに与える影響について
○地子立・田中静幸 (花・野菜技セ) …………… 16
7. 露地立茎アスパラガスの収穫初年目収量
○菅原章人・植野玲一郎・鈴木和織 (上川農試) …………… 18
8. グリーンアスパラガス露地栽培における初期の収穫日数とその後の収量に及ぼす影響

| | |
|---|----|
| ○平井剛 ¹ ・目黒孝司 ² ・中村隆一 ³ ・地子立 ¹ (1. 花・野菜技セ、2. 中央農試、3. 北見農試) …………… | 20 |
| 9. 第 11 回国際アスパラガスシンポジウムの概況と国際品種比較試験 ○田村春人 ¹ ・荒木肇 ¹ ・前田智雄 ² ・皆川裕一 ³ (1. 北大北方生物圏セ、2. 北大院農、3. 美瑛町農業研修セ) …………… | 22 |
| 10. オランダにおける生食用ホワイトアスパラガス生産 —第 11 回国際アスパ ラガスシンポジウムにおける視察報告— ○前田智雄 ^{1,2} ・田村春人 ³ ・荒木肇 ³ (1. 植物情報物質研セ、2. 北大院農、3. 北大北方生物圏セ) …………… | 24 |
| 11. MALDI-TOF MS を用いたアスパラガス貯蔵根中のフルクトオリゴ糖分析 ○野村修子 ¹ ・鈴木卓 ¹ ・前田智雄 ¹ ・大澤勝次 ¹ ・P. Sporns ² (1. 北大院農、2. アルバータ大) …………… | 26 |
| 12. 人工光を利用した野菜の育苗 ○吉田知明・角田英男 (北海道農業企業化研) …………… | 28 |
| 13. 旭川市におけるハウス栽培果菜類の遮光について ○田丸誠 (旭川市農業セ) …………… | 30 |
| 14. 有機質ポットの地温抑制効果と苗の生育についての考察 ○室崇人・杉山慶太 (北農研) …………… | 32 |
| 15. 中玉トマトの周年栽培技術の開発 —4 月植え 6、7 月どり栽培における品 種特性 ○王衛明 ¹ ・大久保進一 ² ・吉田知明 ¹ ・志賀義彦 ¹ (1. 北海道農業企業化研、2. 花・野菜技セ) …………… | 34 |
| 16. アカクローバリビングマルチを利用した施設トマト栽培 ○中山陽佑・荒木肇 (北大生物生産研究農場) …………… | 36 |
| 17. トマト鎮圧平畦栽培についての一事例 ○谷哲也 ¹ ・大道雅之 ² (1. 花・野菜技セ研修生・認定就農者、2. 花・野菜技セ) …………… | 38 |

| | |
|--|----|
| 18. トマトセル成型苗直接定植における定植条件の検討 ○大久保進一・田中静幸（花・野菜技セ） | 40 |
| 19. かぼちやの霜害再現試験調査結果 ○原宣昭 ¹ ・大道雅之 ² (1. 北海道農業共済組合連合会、2. 花・野菜技セ) | 42 |
| 20. カボチャのセル成型苗定植における生育（第2報）施肥量による生育への影響 ○杉山裕・田中静幸・長尾明宣（花・野菜技セ） | 44 |
| 21. カボチャのセル成型苗定植における生育（第3報）育苗培養土の違いによる生育への影響 ○杉山裕・田中静幸・長尾明宣（花・野菜技セ） | 46 |
| 22. セル成型苗を利用した短節間カボチャの栽培 蔓傷発生要因に関する知見 ○杉山裕・平井剛・田中静幸・長尾明宣（花・野菜技セ） | 48 |
| 23. ギョウジャニンニク成葉の含硫化合物組成およびルチン含量の系統間差 ○音喜多啓秀 ¹ ・鈴木卓 ¹ ・西千尋 ¹ ・西村弘行 ² ・毛内雅人 ² ・大澤勝次 ¹ (1. 北大院農、2. 北海道東海大工) | 50 |
| 24. タマネギケルセチン濃度と球の形状についての解析 ○室崇人・杉山慶太（北農研） | 52 |
| 25. タマネギのピルビン酸生成量の生育中における変動 ○野田智昭・柳田大介・西田忠志（北見農試） | 54 |
| 26. たまねぎ極早生有望系統「北見交39号」の特性 ○柳田大介・野田智昭・西田忠志（北見農試） | 56 |
| 27. たまねぎ直播栽培の実用性 ○西田忠志・柳田大介・野田智昭（北見農試） | 58 |
| 28. 早期は種作型によるたまねぎ減農薬栽培 ○西田忠志・柳田大介・野田智昭（北見農試） | 60 |

29. デンドロビウム属ファレナンテ節（ラン科）の花色とアントシアニン
 ○立澤文見¹・篠田浩一²・遊川知久³
 (1. 拓殖大北海道短大、2. 北農研、3. 国立科博・筑波実験植物園) …… 62
30. コリダリス（ケマンソウ科）の花色とアントシアニン
 ○立澤文見¹・御巫由紀²・篠田浩一³
 (1. 拓殖大北海道短大、2. 千葉県立中央博物館、3. 北農研) …… 64
31. デイサ（ラン科）の花色と花色素に関する研究
 ○一原研二¹・三吉一光²・篠田浩一³・立澤文見¹
 (1. 拓殖大北海道短大、2. 秋田県立大、3. 北農研) …… 66
32. 寒地向き球根花きの導入と評価（第3報）北米産ネギ科球根類の生育開花特性
 ○篠田浩一・村田奈芳（北農研） …… 68
33. アルストロメリア新花色系統における切り花特性と収量性について
 ○村田奈芳・篠田浩一（北農研） …… 70
34. アルストロメリアにおける花形制御遺伝子の単離と発現解析
 ○五十嵐俊哉¹・中野優²・荒木肇³・篠田浩一¹・村田奈芳⁴・星野洋一郎³
 (1. 北大院農、2. 新潟大、3. 北大北方生物圏セ、4. 北農研) …… 72
35. 夏秋ぎくの量販店需要に向けた新しい栽培法
 ○平門隆良¹・藤田寿雄²・宮下勇作³
 (1. 空知中央農改、2. 花・野菜技セ、3. 月形町) …… 74
36. りんどう半促成栽培における生育および切り花品質
 ○高濱雅幹¹・佐々木康洋²・生方雅男¹・藤田寿雄¹・高宮泰宏¹
 (1. 花・野菜技セ、2. 空知南西部農改) …… 76
37. シネンシス系デルフィニウムの切り花品質向上に向けた電照技術の検討
 ○黒島学・生方雅男（花・野菜技セ） …… 78
38. Ag の吸収量がデルフィニウムの品質保持期間に及ぼす影響
 ○黒島学・生方雅男（花・野菜技セ） …… 80

39. バラのバケツト輸送における輸送条件および糖処理法の検討
 ○野呂祐司・生方雅男（花・野菜技セ）…………… 82
40. 手摘み器によるヒツポファエ果実収穫に及ぼす品種と熟度の影響
 ○石井現相¹・Saila Karhu²
 （1. 北農研、2. フィンランド MTT）…………… 84
41. リンゴ及びナシの休眠枝に対する重イオンビーム照射の影響
 ○伊藤祐司^{1,3}・阿部知子²・吉岡照高¹・武弓利雄¹・山ノ内宏昭¹
 （1. 生物研放育場、2. 理化学研究所、3. 現：北農研）…………… 86
42. ハイブッシュブルーベリーの休眠枝挿しにおける挿し穂基部の切断角度の影響
 ○水本文洋（北農研）…………… 88
43. クランベリー果実および培養カルスに集積したアントシアニンの
 MALDI-TOF MS を用いた分析
 藤本しず子¹・○鈴木卓¹・大澤勝次¹・P. Sporns²
 （1. 北大院農、2. アルバータ大）…………… 90
44. アロニア、ナナカマド、リンゴおよびナシにおける胚培養を用いた属間雑
 種作出の試み
 興津淳¹・○西千尋¹・村田奈芳²・鈴木卓¹・大澤勝次¹
 （1. 北大院農、2. 北農研）…………… 92
45. 液体窒素中で凍結保存したアロニア、ナナカマド、リンゴおよびナシ花粉
 の発芽に及ぼす温度の影響
 ○興津淳・西千尋・鈴木卓・大澤勝次（北大院農）…………… 94
46. オウトウ台木‘チシマ台1号’の休眠枝挿しについて
 ○来嶋正明・井上哲也・内田哲嗣・稲川裕（中央農試）…………… 96
47. 2004 年台風 18 号により倒木したリンゴ樹の再生
 堀廣孝¹・生田稔¹・星野洋一郎¹・○荒木肇¹・小泉章夫²・稲川裕³
 （1. 北大北方生物圏セ、2. 北大院農、3. 中央農試）…………… 98

48. 2004 年台風 18 号の潮風害が果樹に及ぼす影響について (第 2 報)
 ○小坂善仁 (西胆振農改) …………… 100
49. 糖尿病患者教育プログラムにおける園芸活動利用の取組み
 ○大竹正枝¹・古橋卓¹・鈴木卓¹・酒谷正一²・吉田和博²・宮本宏²・
 大澤勝次¹
 (1. 北大院農、2. 江別市立病院) …………… 102
50. 園芸活動が人の快感情に及ぼす影響 —ジャガイモの栽培を事例とした年
 次問比較—
 ○古橋卓¹・堀内智子¹・大竹正枝¹・中野英樹²・田村春人²・鈴木卓¹・
 大澤勝次¹
 (1. 北大院農、2. 北大北方生物圏セ) …………… 104
51. イチゴ苗の増殖率と果実生産苗の定植時期が花房数に及ぼす影響
 ○松本勇¹・成松靖¹・松永登喜子¹・川岸康司²
 (1. 空知南東部農改、2. 道南農試) …………… 106
52. イチゴの周年栽培技術の開発 四季成り性品種‘エラン’および‘サマー
 ルビー’の特性
 ○川田勇・吉田知明・筒井佐喜雄・志賀義彦
 (北海道農業企業化研) …………… 108
53. 北海道の夏秋採りイチゴ栽培における酵母抽出物 AH1 の効果
 ○船津正人¹・近藤知子¹・高塚明宏¹・前田智雄^{1,2}・北川隆徳³・白井建史³・
 木下宗茂³・鈴木卓¹・大澤勝次¹
 (1. 北大院農、2. 植物情報物質研セ、3. アサヒビール(株)) …………… 110
54. 商業生産機を用いたブロッコリースプラウトの抗酸化成分向上に及ぼす光
 量・光質の検討
 ○前川健二郎¹・前田智雄^{1,2}・大島千周³・鈴木卓¹・大澤勝次¹
 (1. 北大院農、2. 植物情報物質研セ、3. 森産業(株)) …………… 112
55. 有機栽培における施設ハウレンソウの硝酸塩問題とその対策について
 ○阿部真久¹・清水幸一²
 (1. (財)微生物応用技研、2. (有)MOA 自然農法名寄農場) …………… 114

56. 雪中貯蔵キャベツにおける結球内部黒変症状発生の品種間差異
○木村文彦・鈴木和織（上川農試）…………… 116
57. 北海道道央における葉菜類の寒締め栽培適応性の検討
○濱寄孝弘・鮫島良次・廣田知良（北農研）…………… 118